X RAPIDWeekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease

発行 青森県感染症情報センター(2008年12月12日)

(青森県環境保健センター:担当 微生物部)

TEL 017-736-5411, FAX 017-736-5419

青森県環境保健センターホームページ http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html

青森県感染症発生情報

(2008年第49週)

第49週の発生動向(2008/12/1~2008/12/7)

- 1. インフルエンザについては、2 人の届出があり、迅速診断キットによる型別は、上十三保健所、むつ保健所管 内、共にA型でした。
- 2. 水痘については、むつ保健所管内において、警報が出されています。

第 49 週五類感染症定点把握 注: 五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上 + 三		せっ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市 (再掲)		定点数					
疾 患 番 号 • 疾 患 名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	(前週からの増減)	数	定点	数	定点		1				
(85) インフルエンザ									1	0.11	1	0.17	2	0.03	-2						レフ				
(74) RSウイルス感染症	5	0.56	8	0.89	5	0.56	8	1.60	3	0. 50			29	0.69	-8			5	0. 63		ル				
(75) 咽 頭 結 膜 熱	4	0.44	3	0.33							3	0. 75	10	0. 24	8			4	0.50	保健所名	I				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	2.11	29	3. 22	1	0.11	8	1.60	4	0. 67	3	0. 75	64	1.52	5	3	3. 00	16	2. 00		ザ	小		_ .	
(77) 感染性胃腸炎	32	3. 56	8	0.89	26	2.89	17	3. 40	14	2. 33	26	6. 50	123	2. 93	37	9	9. 00	23	2. 88			· 児 科	内 II 私	眼 基科 草	長 仝
(78) 水 痘	28	3.11	15	1.67	9	1.00	16	3. 20	10	1. 67	33	8. 25	111	2. 64	48	1	1.00	27	3. 38		(内 科	科	1	17 +	Т
(79) 手 足 口 病	1	0.11	13	1.44	3	0.33	1	0. 20	13	2. 17			31	0.74	-1			1	0. 13		1+				
(80) 伝 染 性 紅 斑			8	0.89									8	0.19	5						小児科				
(81) 突 発 性 発しん	7	0. 78	5	0.56			1	0. 20	2	0. 33	4	1.00	19	0. 45	2	1	1.00	6	0. 75						
(82) 百 日 咳					1	0.11							1	0.02	0						<u> </u>				
(72) 風 しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																			東地方	2	1	1	0	0
(83) ヘルパンギーナ			1	0.11			2	0.40					3	0.07	3					弘前	15		6	3	1
(73) 麻しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																			八戸 五所川原	14	9 5	2	1	
(84) 流行性耳下腺炎	8	0.89	4	0.44	1	0.11							13	0.31	4			8	1.00	上十三	9	6	3	2	1
(86) 急性出血性結膜炎															0					むつ 青森市	12	8	2	2	1
(87) 流行性角結膜炎	2	1.00	1	0.33	2	1.00	1	1.00					6	0. 55	0			2	1.00	合計	65	_	23	_	6
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4. 00					5	5. 00	9	1.50	3						-		-		

は警報

は注意報

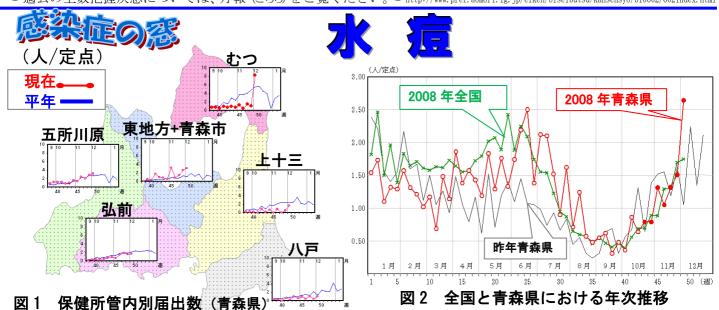
「空欄」: 患者発生数 0

表Ⅱ以外の感染症法対象疾患 (注:届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前2人、八戸4人、上十三1人、青森市2人

(20年計:448人)

☞過去の全数把握疾患については、月報 (こちら) をご覧ください。☞http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/biseibutsu/kansensyo/bi0602/602index.html



水痘の潜伏期間は、10~20日であり、飛沫により感染します。主症状は、発熱、倦怠感、発疹 です。発疹は、全身性に現れ、かゆみを伴い、紅斑、丘疹、水疱を経て痂皮化しますが、水疱が 痂皮化するまで感染性があります。現在、**むつ保健所管内**において急増していることから他の管 内においても注意が必要です(図1,2)。家族内2次感染が多いことから、同居家族に発症者がい る場合は、特に注意が必要です。ワクチン接種については、医療機関、保健所等に相談すること をお勧めします。